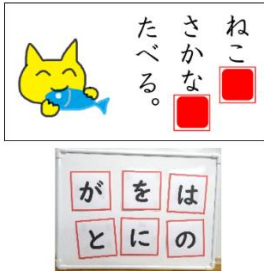
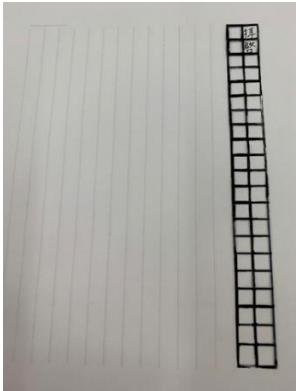


教材・教具

本校では、“一人一人が主人公”を合い言葉に、日々研究・研修を行っています。
個に応じた指導を実践するため、教員が手作りした教材・教具をどうぞご覧下さい。

国語

教材名	ねらい	写真
対義語チップ	「熱い・冷たい」「長い・短い」などの概念を学び、言葉の理解を深めることができる。	
助詞カード パワーポイント	パワーポイントのイラストを見て「が」、「は」、「を」、「の」などの正しい助詞カードを選び、短い文を作る力の基礎を養う。	
文字を均等記入 シート	書く範囲を意識しながら、便せんに均等に文字を書くことができる。	

対義語チップ

【ねらい】

- ・「熱い・冷たい」や「長い・短い」などの概念を学び、言葉の理解を深めることができる。

【特徴、作り方等】

- ・台紙の大きさを 12cm×8cm としたことで、収納しやすく持ち運びやすくした。
- ・マジックテープを貼ることで、「熱い・冷たい」「長い・短い」など課題を貼り替えることができるようにした。

【使い方の例】

- ① 2 枚の台紙それぞれに対義語を貼る。



- ② 当てはまるイラストチップを選び、言葉の下に貼って分類する。



【制作者】 込山 里佳

助詞カード&パワーポイント

【ねらい】

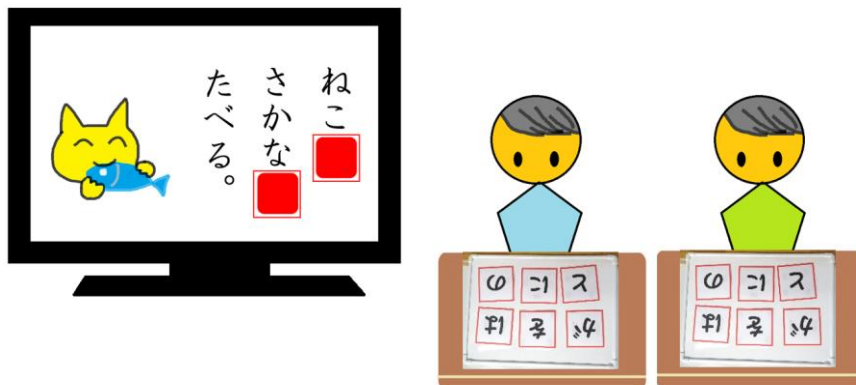
・パワーポイントのイラストを見て「が」、「は」、「を」、「の」などの正しい助詞カードを選び、短い文を作る力の基礎を養う。

【特徴、作り方等】

- ・1人ずつ机上で操作できるように、グループの人数分の助詞カードを作成する。裏面には板マグネットを貼り、ミニホワイトボードに貼る。
- ・片面がマット状のラミネートシートを使用した（光の具合で文字が見づらくなならないように）。

【使い方の例】

- ① パワーポイント教材を見ながら、当てはまる助詞カードを選んでミニホワイトボードに貼る。



- ② ミニホワイトボードのカードとパワーポイントを並べ、答えを確認する。



【制作者】 曾根真理

【ねらい】

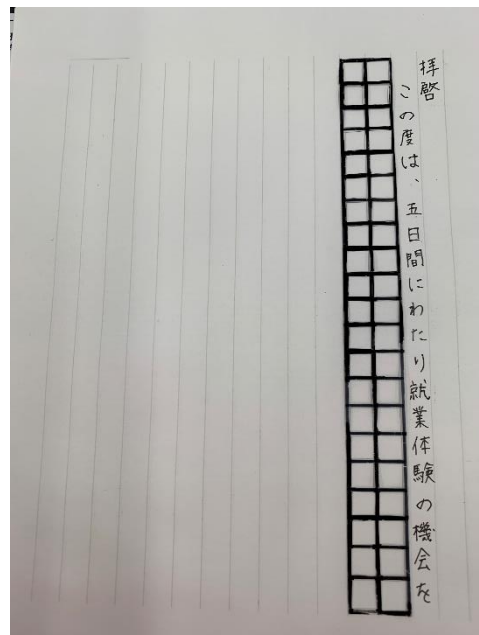
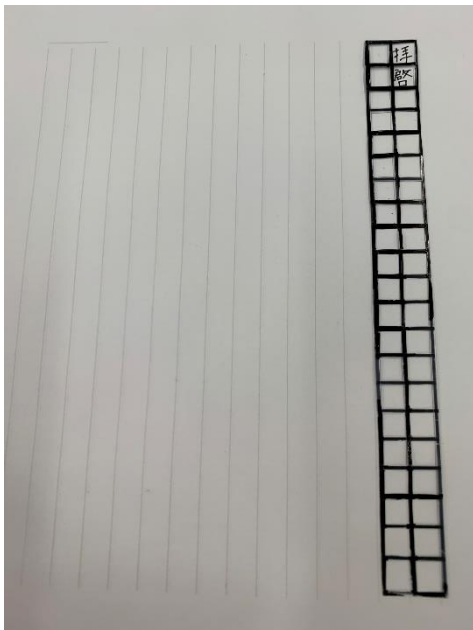
- ・書く範囲を意識しながら、便せんに均等に文字を書くことができる。

【特徴、作り方等】

- ・便せんに合わせてクリアファイルに切り込みを入れ、枠組みを作る。
- ・枠組みの大きさは原稿用紙のマスの大きさにする。
- ・マス目のふちに鉛筆やペンの先が当たり、マス目からはみ出すことなく書き進めることができる。

【使い方の例】

- ① 便せんの罫線に合わせてシートを置く。
- ② 2行ずつ書いてずらしてを繰り返す。
- ③ 枠がずれてしまう時には、マスキングテープで固定する。



【制作者】 富田 美和